



メチョー大学

Maejo University



タイ王国

●学部学生 17,410人 ●大学院生（修士）709人 ●大学院生（博士）185人 ●職員 1,123人 ●教員 685人

ホームページ <http://www.mju.ac.th>

交流協定締結年月日：2002年3月7日 主管学部：農学部



メインキャンパス(チェンマイ市郊外)



農業+留学

循環型農業、耕畜連携や伝統的農業。スケール感が違います。

国際交流の特色

メチョー大学は1934年6月にタイ国立農業技術専門学校として設立され、タイで最も古い農業教育機関の一つである。1975年にタイ政府大学省管轄の国立大学になり、現在、チェンマイの本校とフェアおよびチュンボン分校からなり教員685名、職員1123名が勤務している。学部については、農業生産学部から2008年10月に独立した畜産技術学部、自然科学部、農業経済学部、農業工学部等の12学部から成る。学生数は2016年5月時点で、学部学生17410人、修士課程大学院生709人、博士課程大学院生185人が在籍している。

交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入・派遣	5	3	5
研究者受入・派遣	4	6	6



遺伝資源



ワイルドライフ



国際交流実績多数



Loy Krathong Festival



オープンキャンパス



学内食堂



香大卒教員が大活躍

教員からの声

メチョー大学はチェンマイ市から北東へ10kmに位置し、農業地帯に200haという広大なキャンパスを持つ農業大学です。交流実績は協定締結の10年前から進めており、数十名を超える香川大学既卒者（博士取得後にメチョー大教員として採用）が国際交流を支えています。礼節を重んじるタイ王国の国民性は大変穏やかで、本国と類似点も多いです。これらの背景から、タイ王国らしい「やさしさ」を実感できる留学サポート体制も整っています。昨年、女性大学院生が6ヶ月留学(JASSO奨学金)から帰国、留学経験が高く評価され、県職員に採用されました。今年、トビタテ！留学JAPAN9期(地域枠)の受け入れており、香川県の活動や国際化にも積極的です。背景には、本学と関わりの深い教員が、現役大学院生のリクエストに柔軟に対応してくれていることが挙げられます。農業+留学を通し「強さとやさしさ」を学んでみませんか？
農学部准教授 松本由樹

学生からの声

2002年10月に来日し、翌年4月から大学院連合農学研究科博士課程1年生に入学しました。最初は、日本語が難しく、日本での生活が不安でしたが、同じタイ留学生、研究生の日本人の友達や先生方に支えられ、楽しく生活しました。博士号取得後は、母校のメチョー大学教員として勤務していますが、日本での留学体験は、未だにかけがえの無い思い出となっています。現在は、機能性飼料の開発として、シイタケ足付粕やサトウキビ抽出物を給餌した鶏の栄養吸収機能に関する研究を行っています。留学時には、指導教員の山内先生(香川大学名誉教授、メチョー大名誉博士)にお世話になり、今でも感謝しています。私たちは、いつでも学生の皆さんの快適な留学をサポートしますので、皆さんの留学をお待ちしています。
右下図(カウボーイハットの女性)愛媛大学連大院修士
メチョー大学 学長特別補佐 Tonglian Buwjoom 博士